

RSN、今年度上半期の相談状況まとめる

ぱちんこ依存問題相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）」（西村直之代表）はこのたび、今年度上半期に寄せられた相談内容の状況をまとめた。この半年間でRSNに寄せられた相談件数は401件で、一ヶ月平均約66件。地域別にみると大阪府（45件）、沖縄県（43件）、東京都（27件）の順だった。

相談者は「本人」が49%で最も多く、次いで「対象者の家族・友人」が41%となっており、昨年度の調査と比べ、「本人」からの相談が「対象者の家族・友人」を上回った。相談内容では「やめる方法」「やめさせる方法」が235件と、前回に続いて最多だった。こうした相談に対しRSNでは、市や県の精神保健福祉センターをはじめ、ギャマノン（ギャンブル問題で悩む家族のグループ）、ワンデーポート（強迫的ギャンブル回復施設）などの支援施設・団体を数多く紹介している。